



# 原小だより

～つよく 正しく 朗らかに～

5月号

令和6年(2024年)

4月23日

宇部市立原小学校



## 令和6年度 原小テーマ「自立・自律・おもいやり」

今年度は「自立・自律・おもいやり」のテーマのもと全校児童、全教職員、保護者の皆様、地域の方々に学習や学級づくり、学校づくりを行っています。4月の活動の一部を紹介します。

### 「自立」の高学年会

4月10日(水)に5、6年生が集まり、「1年後どんな原小になっていて、みんなにどんな言葉をかけてもらえるかならうか」について考えました。まず感心させられたことは、高学年としての自覚が高まった児童たちは、話を真剣に聴き、多くの人の前で自分から自分の言葉で考えを伝えることができていたということです。「地域のために原小を支えてくれてありがとう」そんな言葉をかけられるように頑張りたいという気持ちが伝わる素敵な集会となりました。

### 「自律」の6年生学年活動と参観日

6年生は学年活動で学年のスローガンについて考えました。4月19日(金)の参観日でさらに保護者の方と一緒に考えました。話し合いを進めたり、自分の意見を言うのは緊張したり、うまくいかなかったりすることもあるのですが、自分たちの力であきらめずに最後まで考えをまとめていきました。この力こそが「自律」につながります。

### 「自律」のPTA評議委員会

4月9日(火)PTAの評議委員会では今年度の活動についての話し合いをしていただきました。見守り活動をもう少し増やしてみようか、原小まつりの計画をもう少し早めに見ようか等保護者の皆さんも、子どもたちのために、前向きな意見を出されていました。持続可能で子どもも大人も幸せでいられるために、知恵を出し合い活動される姿は子どもたちにとって「自律」の大きなお手本です。ありがとうございます。

### 「おもいやり」いっぱい地域の皆様

登下校を見守ってくださる見守り隊の皆様、校区内探検がありますという学校からのお知らせですぐに集まってくださる皆様、登校した児童を温かく迎える花壇のお花とウエルカムボード等、毎日子どもたちにおもいやりが伝わっています。

今、世の中はグローバル化、IT、環境問題、少子高齢化など、想像を絶するスピードで変化を続けています。経験したことがない事態にも対応する力が必要です。2024年の山口県の人口は約130万人、2050年には92万人になるという予想です。子どもたちが大人になった時、多様な他者と話し合いながら課題を解決して社会をつくっていく力は必須です。

そこで原小では「自分で考えて行動できる自立」「うまくいなくてもあきらめずに取り組む自律」「多様な他者の考えを尊重できるおもいやり」の力をつけるため多くの学習活動を展開します。保護者や地域の皆様のお力添えが不可欠です。子どもたち、そして子どもたちがつくる未来のために、ご支援ご協力を引き続きよろしくお願いいたします。

